

山形県神室少年自然の家

令和4年度の利用に向けたリーフレット

※具体的なプログラム内容については、新型コロナウイルス感染状況に応じて山形県教育庁生涯教育・学習振興課から発出される通知内容によって制限されたり、緩和されたりする場合があります。

山形県神室少年自然の家 活用フランのご案内 ◇幼稚園・保育所・こども園向け◇

<四季を通じた活動を>

- 幼児期にこそ、自然の中で、思いきり遊びながら、自分のしたいことを自分の力で叶える体験を！
春には「できなかったこと」や「泣いてしまった場面」が、秋になったら「できること」や「がまんできること・自信をもてる場面」に変わった・・・など、くりかえし体験することを通して、子どもは成長していきます。四季の変化を体感しながら、心と体を鍛え、感性を磨く...、そんなプログラムはいかがでしょうか。

◆こんなテーマでいかがですか◆

春：春探し（春の草花） 等
夏：朴（ホウ）の木の葉っぱでお面づくり、川遊び 等
秋：秋さがし、どんぐり拾い、どんぐりクラフト、自然の色さがし、
焼き芋パーティー 等
冬：雪遊び（スノーハイク、スノーチューブ、けつつぞり、竹スキー、雪板） 等

自然の中をただ散策するだけでも、子どもたちは自然の中から遊び方を学んだり、自分たちのルールを見つけ出したりするものです。

時には、大人が考えたプログラムよりも、神室の森での「自由遊び」が様々な感性を磨き、自然の変化に気づき、自分たちのルールを見つけるきっかけになることもあります。

年に一回の利用より、四季を通じて活動を行うことで、様々な発見、ものの見方・感じ方の変化など、大人の想像を越えた学びが生まれると思います。

ぜひ、四季を通じた利用をご検討ください。

【例1】

- 弁当持参で、神室のスキー場周辺で野遊びをする。
- ついでに、お昼寝もして帰る。

【例2】

- 川遊びで、魚つかまえに挑戦してみる。
- 川原の石を積み上げて遊ぶ。石に絵を描いて遊ぶ。

【例3】

- 雪の山を、自分の足で歩いて登る。
- てっぺんからの眺めを楽しんだら、おもいきり「けつつぞり」で滑り降りる！



山形県神室少年自然の家 活用フランのご案内◆小学校向け◆

< 小学校低学年は生活科や遠足で！ >

- 自然の中で、思いきり遊んだり、学んだりすることができます。四季の変化を全身で感じたり、起伏のある散策コースを歩いたりすることで、子どもの心と体が鍛えられ、感性が磨かれます。

春：春探しを中心にしたネイチャーゲーム

夏：川遊び、カジカ捕まえ、石アート

秋：どんぐり拾い、丸太切り、クラフト、自然の色遊び

冬：ダイナミックな雪遊び



< 宿泊体験学習をさまざまなパターンで！ >

- 小学校の宿泊学習では、学校の教育課程に合わせて様々な日程のパターンと、それに応じたプログラム編成が可能です。どんなねらいをもって、どんな力をつけたいのか、先生方の願いをかなえるお手伝いをさせていただきます。

【1泊2日の活動例】

	1 日目	2 日目
午前	入所 ソロビバーク/テント設営 昼食（館内食）	朝食（館内食） ビバーク/テント撤収 スコアオリエンテーリング
午後	野外炊飯（ソロ/グループ） 夕食・片付け	昼食（弁当） クラフト 退所
夜	ナイトハイク 星空観察 ソロビバーク/テント泊	



- ゆとりのあるプログラムや、活動を繰り返すプログラムを組むと、失敗を生かしたり、子どもどうしが話し合って課題を解決したりする体験の場を作ることができます。

【2泊3日の活動例】

	1 日目	2 日目	3 日目
午前	入所 アイスブレイク ソロビバーク/テント設営	朝食（館内食） ビバーク/テント撤収 川遊び or 三滝トレッキング	朝食（館内食） 食器・部屋点検 思い出クラフト ふりかえり
午後	野外炊飯① （ソロ/グループ）	昼食（弁当） 野外炊飯②（ソロ/グループ）	昼食（館内食） 退所
夜	ナイトハイク ソロビバーク/テント泊	ボンファイヤー ふりかえり 館内泊	



山形県神室少年自然の家 活用プランのご案内◆中学校・高校向け◆

4月～5月 【中1、高1】 ・初発指導 ・集団・組織作り ・基本的生活習慣の定着	5月～9月 【中1】 ・自然体験による人間関係づくり ・集団生活の向上 ・集団としての課題解決能力の育成 ・クラス合唱など文化祭に向けて	10月～11月 【中1・中3】 ・集団生活の向上 ・集団の状態チェック ・進路達成のための学習会など	11月～2月 【学年・部活…】 ・学習合宿 ・部活動での集団づくり
--	---	--	--

長期休業（夏休み） ・修学旅行等に向けたリーダー研修 ・生徒会役員改選などに向けたリーダー研修 ・学年の自治機能アップに向けた学年リーダー研修 ・強化合宿、チーム作りの宿舎として	長期休業（春休み） ・次年度の生徒会活動のためのリーダー研修 ・学年の自治機能アップに向けた学年リーダー研修
--	---

宿泊体験学習

主なねらい
 ○初発指導 ○集団生活の向上
 ○仲間づくり ○人間関係づくり

◆1泊2日のプランの例◆

		主な活動
1日目	午前	入所→弁当受取→三滝トレッキング出発
	午後	三滝トレッキングから到着→野外炊飯
	夜	入浴→神室ドミノ→タベのつどい→館内泊
2日目	午前	昼食（館内食）→川遊びダイビング体験、またはスコアオリエンテーリング→弁当
	午後	退所→帰校



		主な活動
1日目	午前	入所→全体ミーティング→班会議（課題作成）
	午後	昼食（館内食）→体験活動ワークショップ→班会議
	夜	入浴→神室ドミノ→タベのつどい→館内泊
2日目	午前	館内食→班ごとの発表準備
	午後	昼食（館内食）→発表会→退所→帰校



◆2泊3日のプラン◆

神室少年自然の家周辺の自然活動をダイナミックに取り入れたバージョン①

		主な活動
1日目	午前	入所ハイキング（学校から・真室川駅から）→入所
	午後	ビバーク/テント設営→野外炊飯（ソロ/グループ）
	夜	入浴→ソロビバーク/テント泊
2日目	午前	ビバーク撤収→朝食（館内食）→三滝トレッキング→弁当
	午後	帰所→野外炊飯（ソロ/グループ）
	夜	ボンファイヤー→班会・係会・神室ドミノ→館内泊
3日目	午前	起床→朝食（館内食）→仲間づくり→館内食→退所

【活動】
 入所ハイキング、三滝トレッキング、野外炊飯、ビバーク/テント泊
 【目的】
 歩く活動を中心とした野外体験活動を通じた学級・学年集団づくり。

神室少年自然の家周辺の自然活動をダイナミックに取り入れたバージョン②

		主な活動
1日目	午前	入所→ビバーク/テント設営
	午後	野外炊飯（ソロ/グループ）→登山準備
	夜	キャンプファイヤー→ビバーク/テント泊
2日目	午前	起床→館内泊→杣蔵山登山（おにぎり弁当）
	午後	杣蔵山登山帰所→野外炊飯（ソロ/グループ）
	夜	入浴→班会・係会→ビバーク泊
3日目	午前	起床→ビバーク/テント撤収→館内食→退所・帰校

【活動】
杣蔵山登山、野外炊飯、ビバーク/テント泊

【目的】
ダイナミックな野外体験活動を通した学級・学年集団づくり。

※ 条件が合えば所バス対応可能な場合もあります。

※ 仲間づくり活動やワークショップなどのファシリテートも承ります。

学習合宿

主なねらい

- 学習習慣の定着
- 学力向上

目的：共同生活を行いながら、学習の仕方を定着させるとともに学力の向上を図る。

		主な活動
1日目		学校集合→入所→館内食→学習→入浴→学習→就寝
2日目		起床・朝学習→館内食→学習→入浴→学習→就寝
3日目		起床・朝学習→館内食→退所→学校解散

リーダー研修

主なねらい

- リーダーの育成
- 各活動計画立案
- リーダー同士の連携 など

◆1泊2日のリーダー育成プラン◆長期休暇中などを利用した

目的：共同生活を行いながら、リーダーとしての資質の向上を図る。

		主な活動
1日目 午前		入所→仲間づくり活動→館内食
1日目 午後		研修会・リーダーとしての資質向上に関わるワークショップ→館内食
1日目 夜		研修会・活動計画の立案と討論会→入浴→就寝
2日目		起床→館内ボランティア→館内食→研修→ふりかえり→館内食→退所

部活動合宿

主なねらい

- チーム力の向上
- 戦略・戦術について

目的：共同生活を行いながら、チーム力の向上を図る。

- ・吹奏楽部の演奏練習の場として
- ・運動部の合宿の宿舎として、夜は、ミーティングやチームワークの確認のためのゲームなど。
- ・仲間づくりに神室のエクササイズを利用ください。

神室の利用に関する Q & A

Q. 1泊2日でも十分な達成感がありますか？

もちろん、「時間の余裕」や「くりかえし」のあるプログラムのためには、2泊以上の日程が取れば何よりかと思いますが、各学校・団体の教育課程や事情により、そうならない場合もあるかと思います。例えばそんな時には、あえて活動内容にハードと思えるものを取り入れ、「活動時間を意識して行動する」というねらいを児童生徒に持たせることで、時間に対する意識や規範意識、リーダーシップとフォロアーシップなども自然と身につけるチャンスが生まれます。

短い時間だからこそ、難易度の高いプログラムの組み合わせがより効果的で、達成感や満足感を生み出します。

◆具体的な時間の有効活用例◆

1泊2日の場合、宿泊を館内泊やビバークにする、食事を館内食や弁当にするなどの工夫により、活動の時間を多くとることも可能です。

Q. 小学校の時も神室を利用しているので、他の少年自然の家を使った方が学習効果は高いのでは？

たとえば、小学校でも三滝トレッキングを経験した子どもたちが、中学校でもまた同じコースに挑戦する学校があります。

小学生の時と中学生の時では、同じ体験活動でも、生徒の取り組み方、感じ方には変化が生じます。だからこそ、年齢や仲間が違っていると学習効果も違うものになります。

また、5年生の時に使ったことのある施設だからこそ、施設の使用についての指導等も比較的少なく済み、実際の活動にかける時間を多くとることができます。

Q. コロナ禍でテント泊や野外炊飯に制限がかかっているけど、いい体験活動はできるの

令和3年12月現在、山形県内の少年自然の家では、教育庁生涯教育・学習振興課からの通知に基づいて、施設の宿泊者数やバスの乗車定員、テント泊や野外炊飯等の一部の活動プログラムに制限がかかった状態となっており、利用者の皆様には大変ご不便をおかけしております。

しかし、そういった中でも、制限をクリアするために工夫した「ソロ炊飯」や「ソロビバーク」などの体験活動をプログラム化し、提供させていただいております。これらは「一人一人が、自分の欲求を満たすために、また自分がより快適に過ごすために、自分の力で最初から最後までやりきる」ことを前提とした活動となっており、実施した学校の先生方からは、「子どもたちの自主的な姿、一人一人が最後まで自分事として活動に取り組む姿が見られ、ねらいの達成に役立った」という感想をいただいております。

コロナ禍による活動制限の解除がいつになるかは、現在のところはっきりお伝えできる状況ではありませんが、その中でもねらいを明確にし、それに応じて活動内容を工夫していくことで、よりより体験活動プログラムを組むチャンスが広がられるチャンスはたくさんあります。神室職員が全力でサポートさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

